

☆ 世 界

綿 花 中国が備蓄綿花をオークションへ

国際綿花諮問委員会 (ICAC) によると、中国は 3 月 6 日から備蓄綿花の販売を開始する。今年 8 月末まで、一日あたり約 3 万トンを放出していく見通し。売れ行きが順調で市場価格が上昇すれば、より多くの綿花が競売にかけられることになると予想される。去年は 9 月末までに約 260 万トンが販売されたが、今年も同様の売れ行きが見込まれ、2016/17 年末までに 600 万トンの販売が期待されている。在庫の総計は、民間企業も含めると、2016/17 年末に 930 万トンとなる予想で、世界の在庫の 53% を占めることになる。世界の期末在庫は、2016/17 年は前年比 7% 減の 1,790 万トンの見通し。2017/18 年の世界の綿花消費は生産を 120 万トン上回り、世界の期末在庫は 3 シーズン連続で減少し、1,670 万トンになると予想される。2017/18 年末の中国の期末在庫は 19% 減の 750 万トンとなり、世界の在庫の 45% を占める見通しである。2011/12 年以降、中国の在庫は世界の半分以上を占めていたが、そうした状態を脱しそうである。中国以外の世界の期末在庫は 7% 増の 800 万トンとなり、同シーズン後半の価格低下圧力となる見通しである。

2017/18 年の世界の綿花生産は、3,040 万㌔の作付面積のもとで 2,310 万トンに増加すると予想される。

・インド…作付面積は前年比 7% 増の 1,120 万㌔の見通ししながら、生産は 2% 増の 590 万トンに止まる。

・中国…生産は 2% 増の 480 万トンと予想されるものの、補助金の有無で大きく変わると見られる。

・米国…米国では、綿花価格が競合作物の価格を上回っているため、作付面積の拡大が期待されるはずだが、2017/18 年の綿花生産は 1% 増の 370 万トンに止まる見通しである。天候が例年通りであれば、作付面積は 3% 増の 400 万㌔弱に過ぎないとの見通しである。

・パキスタン…害虫問題が解消され綿花価格が上昇したことで農家の栽培が促進され、作付面積は 3% 増の 250 万㌔、平均イールドは 8% 増の 736kg/㌔となる予想。この結果、生産は 11% 増の 190 万トンとなる見通しである。

世界の綿花消費は、2015/16年に前年比1%減の2,400万トとなり、2016/17年もほぼ横ばいとなる見込み。今シーズンの好調な需要に加え、2017および18年の世界の経済成長が予想されていることから、世界の綿花消費は1%増の2,430万トとなる見通し。

・中国…中国のミル消費とその世界に占めるシェアは2010/11年から2015/16年に連続して減少し、2015/16年は740万トに減少した。2016/17年は前年比2%増の760万ト、2017/18年は1%増の770万トと増加が予想されるものの、世界の消費に占める割合は30%で横ばいを続ける見通しである。

・インド…2016/17年の消費は3%減の510万トとなる見込みだが、2017/18年は1%増の520万トと増加が予想される。

・バングラデシュ…繊維製品の輸出が堅調であるため、消費は引き続き伸びている。2017/18年は5%増の150万トとなると見られる。

・ベトナム…2017/18年の消費は120万トの予想。2012/13年は約50万トだったため、この5年で倍以上に増加している。

世界の綿花貿易は、2017/18年に3%増の800万トとなる見通し。中国は、引き続き消費が生産を上回り、輸入は11%増の110万トとなると見られる。バングラデシュの輸入は3%増の150万ト、ベトナムは7%増の124万トの予想。一方で輸出は、世界一の綿花輸出国である米国が5%増の290万ト、第2位の輸出国であるインドは3%増の99万トとなる見込み。

世界の綿花需給見通し

(100万ト)

	2015/16	2016/17	2017/18
生産	21.03	22.69	23.11
消費	24.13	24.05	24.33
輸入	7.54	7.85	8.05
輸出	7.53	7.85	8.05
期末在庫	19.25	17.88	16.66
価格*	70	77*	

*Cotlook A インデックス(セント/ポンド)価格は、中国を除く世界の在庫率の見通し、中国の綿花輸入見通しをもとに推計した。